

輔仁大学日本語日本文学『日本語日本文学』第四十七輯

投稿募集（日文）

- 1) 当紀要は寄稿及び一般投稿論文を募集しております。一般投稿論文については随時、受け付けており、本学科及び学外の研究者、専門家によって組織された審査委員会にて厳正なる審査を行います。
- 2) 投稿資格：国内外の研究者、大学院生からの意欲的な投稿を歓迎します。
- 3) 内容：日本文学、日本語学、日本語教育、日本文化の関連分野。
- 4) 未発表のものに限ります。修士論文や博士論文の一部はご遠慮ください。
- 5) 使用言語：日本語。
- 6) 投稿者は以下の書類をそろえ、当学科に提出してください。
 - ①プリントアウトした論文3部（1部は記名、2部は投稿者の匿名性が守られたもの）
 - ②論文の電子ファイル1部。なお①と②の書類は返却致しませんので、ご了承ください。
 - ③投稿申請書
 - ④著作授権同意書（電子ジャーナルでの出版の同意が必要です）
 - ⑤審査費 NTD2000 元（現金書留）
- 7) 書式
 - ①使用ソフトと設定：Windows の Word を使用し、A4 用紙に横書きにする。
 - ②字数：要旨、図表等も含め 25000 字以内（34 字×38 行×20 頁）。
 - ③字数制限を超える場合は審査をお断りすることもありますのでご了承ください。なお字体、行空け等、細かい規定については次頁をご参照下さい。
 - ④論文の順序：要旨、本文（注、図表を含む）、付表、参考文献。
 - ⑤要旨：日本語、中国語、英語の順で、字数はそれぞれ 600 字以内、キーワード 5 つ以内。
 - ⑥著作権同意書（本系ホームページ (<http://www.jp.fju.edu.tw/>) よりダウンロードし、プリントアウトしたものに書きこんでください。なお、同意書にも記したとおり、投稿論文の電子書籍化に同意して下さる方に限ります。）その他注意事項
 - ① 論文は投稿書式を参照し、それに従って下さい。当編集委員会の訂正・校正など編集作業の簡略化にご協力下さい。
 - ② 論文末には必ず参考文献一覧を付けてください。
 - ③ 審査の段階では謝辞などは入れないでください。
 - ④ 投稿する論文が「～再考」といった種類のものの場合、もとになった論文がどこでいつ発表されたものかを論文中に明記してください。
- 8) 審査結果は以下の通りです。
掲載 修正後掲載 掲載不可
- 9) 投稿者には論文集 2 冊と本誌 CD-ROM1 枚をお送りします。
- 10) 次号の締め切り日：2018 年 2 月 28 日（消印有効）、発行は 2018 年 7 月 31 日となります。なお、投稿は一人一編に限ります。
- 11) 本誌掲載の論文は、本学科の同意なくして他の紀要、雑誌などに掲載することはできません。本誌掲載の全ての論文の著作権は本学科（本誌）に属します（電子ジャーナルも含む）。著作権は論文執筆者本人に属します。なお、掲載論文の利用方法は以下の通りです。
 - ①出版する際には、書籍、もしくは電子ジャーナルの形で行う。
 - ②デジタル化を進める上で、データベースのコピー・インターネット上で公開された資料へのアクセス・ダウンロード・プリントアウト・閲覧などのサービスについては、有料にて提供する。

③国家図書館や他のデータベース業者に対し本誌掲載論文の資料提供をする場合、論文の書式などを変更する場合もある。

- 12) 著者校正は初校のみとします。初校の段階での誤植以外の大幅な修正は原則として認めない。
- 13) 審査後、修正が必要とされた論文についての掲載決定権は、本編集部にあります。審査、修正の遅れなどで期日までに完全稿（投稿書式に合わない論文も含む）が間に合わなかった場合、次号に掲載が延ばされる場合もありますので、ご了承下さい。

送付先：242 新北市新荘区中正路 510 号輔仁大学日本語文学系

封筒に『日本語日本文学』投稿原稿在中と明記してください。

TEL：(02) 2905-2596、2905-3729

FAX：(02) 2905-2169

『日本語日本文学』投稿論文書式詳細（日文）

A4用紙を用い、Windows Word で横書き、34 字×38 行×20 頁

25000 字以内（日本語、中国語、英語の要旨含む）。

余白：上下 2.54cm 左右 3.17cm

字体等は以下の通りです。

		明朝体	Gothic 体
Windows Word (ファイル名.doc) (ファイル名にはアルファベットを使用して下さい)	日本語	MS Mincho	MS Gothic
	中国語	新明朝体	中黒体
	英語	Times New Roman	Arial
	数字	Times New Roman	Arial

論文名 : 14 point Gothic 体

執筆者名 : 12 point 明朝体 (記名論文一部のみ)

所属機関、役職名 : 12 point 明朝体 (記名論文一部のみ)

本文 : 12 point 明朝体

注 : 10 point 明朝体 (Word の脚注機能を使用し、各頁末に)。

参考文献 : 12 point 明朝体

資料 : 12 point 明朝体

* 論文名と執筆者名の間は一行空き。

* 所属機関及び役職名と本文の間は一行空き。

* 章や節、項の表示は 12point Gothic 体で、以下のとおり。

第一章→1

第一章 第二節→1.2

第一章 第二節 第三項→1.2.3

* 章と章の間は一行空き。

* 段分けの際、各段の一行目は一マス目を空け、引用の際は、引用文全体を二マス分下げて引用すること。

なお引用文と本文の間は行を空けないこと。

- * 図表中の文字は本文にならい、本文との間は原則として一行空き。
- * 参考文献もしくは注で引用文献を示す際、執筆者名、出版年、論文名、(書名)、頁数、(編著者名)、出版社名の順で記入して下さい。

要旨の書式：

日文テーマ (Gothic 14p、真中置き)
(一行開け)

執筆者名 (MS Mincho 12p) * (挿入脚注)
(一行開け)

要 旨 (MS Mincho 14p、真中置き)
(一行開け)

要旨内容 (MS Mincho 12p).....
.....
.....。

(二行開け)
キーワード：一個 二個 三個 四個 五個

*作者所属機関役職名(日文) (MS Mincho 10p)

中文テーマ (中黒體 14p、真中置き)
(一行開け)

執筆者名 (新明朝体 12p) * (挿入脚注)
(一行開け)

摘 要 (新明朝体 14p、真中置き)
(一行開け)

要旨内容((新細明體 12p).....
.....
.....。

(二行開け)

關鍵詞：一個 二個 三個 四個 五個

*作者所属機関役職名(中文) (新細明體 10p)

英文テーマ (Arial 14p、真中置き)

(一行開け)

執筆者名 (Times New Roman 12p) * (挿入脚注)

(一行開け)

Abstract (Times New Roman 14point、真中置き)

(一行開け)

要旨内容 (Times New Roman 12p).....

.....

.....

(二行開け)

Key words：一個 二個 三個 四個 五個

*作者所属機関役職名 (英文) (Times New Roman 10p)

参考文献書式：

参考文献

河野六郎 (1994) 『文字論』三省堂

藤川正数 (1991) 『森鷗外と漢詩』有精堂

小池康 (2011) 「日本語能力試験を再構成したテストの実施と分析：古典的テスト理論と項目応答理論を用いて」 『筑波大学留学生センター日本語教育論集』26号、pp. 37- 57

岡本勝 (1982) 「『鵲尾冠』『庭竈集』『ひるねの種』『雑談集』(補訂)」 鈴木勝忠編『蕉門俳書の総合的基礎研究』岐阜大学教育学部、pp. 21-23

